

**令和3年度スポーツ庁委託事業
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
事業報告書**

国立大学法人筑波大学
オリンピック教育プラットフォーム
Centre for Olympic Research and Education



本報告書は、スポーツ庁「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」による委託事業として、全国中核拠点（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）および各地域拠点が実施した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（令和3年度）の成果を取りまとめたものです。
本書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続が必要となります。

はじめに

延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が本年度、コロナ禍ではありましたが、無事に開催されました。開催そして終了に至るまでの関係者の努力は、並々ならぬものがあったことと思います。また、オリンピック・パラリンピック教育に関わった方々ととりましても、新型コロナの感染が収束しない中、オンラインによるアスリートとの触れ合いやスポーツ指導、大会関係者による講演など、さまざまな工夫がなされ、東京2020大会についての教育の実践が積み重ねられましたことに、深く敬意を表したいと思います。

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」は、2014年度末に文部科学省に設置された「オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議」の提言や、2015年度の「調査研究事業」の結果を踏まえて、2016年度以降、オリンピック・パラリンピック教育の内容を構築して展開してきました。筑波大学、早稲田大学および日本体育大学がサポート役として、関わってきました。2016年度から2021年度までの6年間で、オリンピック・パラリンピック教育推進校の数は、4000校を超えています。東京都以外でこれだけの数の学校がオリンピック・パラリンピック教育に関わったことは、日本全国でオリンピック・パラリンピックの理念が次世代の若者に伝えられたことを示しています。

これまで本事業にご協力をいただきました教育現場の先生方はじめ、関係各位の皆様に、厚く感謝申し上げます。この事業は今年度で終了になりますが、今後のオリンピック・パラリンピック教育のさらなる深化と発展を祈念し、あいさつに代えさせていただきたいと思っております。

2022年3月

筑波大学特命教授（オリンピック教育プラットフォーム事務局長）

真田 久

目次

1. 本事業の概要	
(1) 本事業の目的	1
(2) 推進体制	2
(3) 実施スケジュール	4
2. セミナー（事前研修会）	
(1) 全国セミナー	5
(2) 地域セミナー	6
① 宮城県	
② 福島県	
③ 群馬県	
④ 長野県	
⑤ 愛知県	
⑥ 山口県	
⑦ 福岡県	
⑧ 北九州市	
3. 各地域拠点の推進校における実践	
(1) 推進校一覧	16
(2) 推進校アンケート	22
4. オリンピアン・パラリンピアン派遣プロジェクト	24
5. ワークショップ（事後研修会）	
(1) 地域ワークショップ	26
① 宮城県	
② 福島県	
③ 茨城県	
④ 群馬県	
⑤ 長野県	
⑥ 愛知県	
⑦ 島根県	
⑧ 山口県	
⑨ 愛媛県	
⑩ 福岡県	
⑪ 北九州市	
(2) 全国ワークショップ	38

1. 本事業の概要

(1) 本事業の目的

2020年東京大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）において、政府は「大会開催を契機に、オリンピック・パラリンピック教育の推進によるスポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する」方針を示している。本事業は、この方針の実現に向けて、スポーツ庁の委託を受けた全国中核拠点（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）と地域拠点（令和3年度は41地域）が連携し、学校や地域におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを推進することを目的としたものである。

平成28年度からの計6年間（「調査研究事業」を含めると7年間）の最終年度にあたる本年度は、筑波大学は全国中核拠点（Aタイプ）として、主に以下の事業を実施した。

①オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議への参画

スポーツ庁および全国中核拠点、関係団体（内閣官房オリパラ事務局、東京2020組織委員会、東京都教育庁、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター）からなる「オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議」に出席し、2020年東京大会に向けたオリンピック・パラリンピック教育の推進方法について情報共有と検討を行った。

（日時）

第1回：令和3年10月18日（月）13：30～

（開催方法）

オンライン会議

次に、同会議で決定された本事業におけるオリンピック・パラリンピック教育における「5つのテーマ」を整理する。

【本事業における「オリンピック・パラリンピック教育」テーマについて】

オリンピズムの教育的価値（努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越

性の追求、身体・意志・知性の調和)、パラリンピックの価値(勇気、強い意志、インスピレーション、公平)の普及に向けて、以下のテーマを設定する。

- I. スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II. マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III. スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- IV. 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V. スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

②各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の総合的支援

全国中核拠点の主要な役割の一つは、地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の総合的支援である。教育実践に先立ち、各地域拠点のコーディネーター(担当指導主事等)を対象とするオンライン形式の「全国セミナー」を開催した。また、新型コロナウイルス感染症拡大により開催されなかった「地域セミナー」の代わりに、各地域拠点の推進校に対して本事業に関する資料配布を行い、とくに情報提供の面で支援を行った。その後、各推進校における教育実践をサポートし、各地域拠点における実践報告会としての「地域ワークショップ」に参加した。年度末には、全ての全国中核拠点と地域拠点が全体を通して成果と課題を共有する「全国ワークショップ」を開催した。また、オリンピック・パラリンピック教育の成果に係る推進校アンケートを実施し、その分析とフィードバックを行った。

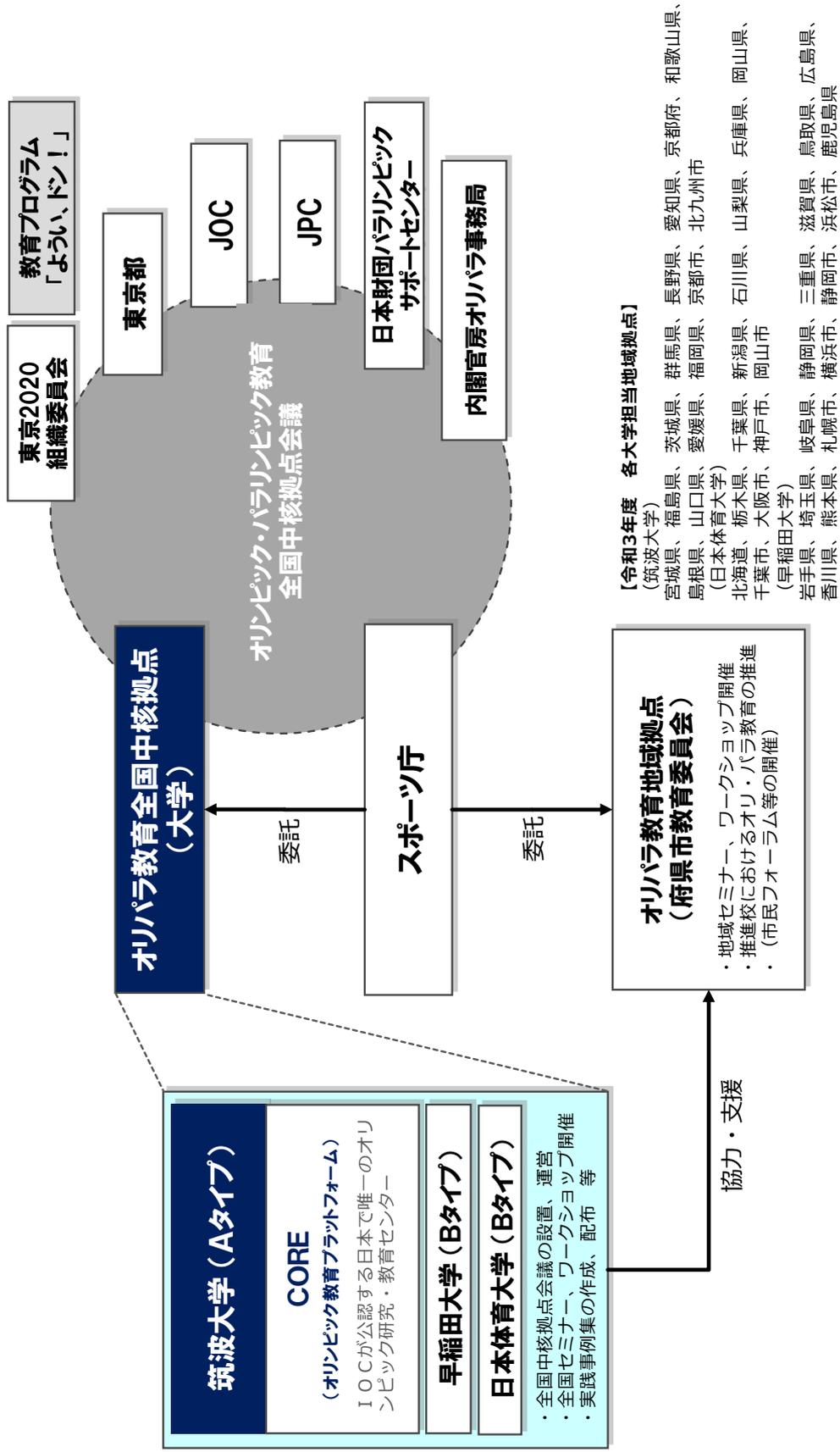
③事業総括報告書の編集・発行

計6年度の総括を行い、今後のオリンピック・パラリンピック教育の発展性を取りまとめた報告書を編集、発行した。冊子体を各地域拠点に提供するとともに、スポーツ庁におけるウェブサイトにおいてデータ版が公開される予定である。

(2) 推進体制

次に、本年度の事業推進体制について、次頁に整理する。

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 推進体制図



(3) 実施スケジュール

時期	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学内における推進体制の整備 ・ 各担当地域拠点との連携体制の整備 ・ 各推進校等におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践支援（～1月） ・ 筑波大学附属学校群におけるオリンピック・パラリンピック教育のモデル授業研究・開発（～2月） ・ 各担当地域拠点のコーディネーターへのオンライン会議システム対応端末の貸出（～3月）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国セミナーの開催 ・ 福島県地域セミナーへの参加、実践支援
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡県地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 山口県地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 北九州市地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 宮城県地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 群馬県地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 愛知県地域セミナーへの参加、実践支援 ・ 「実践事例集」（令和2年度分）の発行
7月	（上記事項の継続）
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野県地域セミナーへの参加、実践支援
9月	（上記事項の継続）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回全国中核拠点会議への参加
11月	（上記事項の継続）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県地域ワークショップへの参加、実践支援
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 群馬県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 福岡県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 福島県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 茨城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 全国ワークショップの開催 ・ 島根県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 愛媛県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 総括報告書（日本語版）の作成
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 山口県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 長野県地域ワークショップへの参加、実践支援
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総括報告書（英語版）の作成 ・ 事業報告書冊子および事業報告用ウェブページの作成 ・ 委託事業完了報告書の提出

2. セミナー（事前研修会）

（1）全国セミナー

各地域拠点における事業の開始にあたり、事業概要・方針や新しい生活様式におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進に関する情報を共有し、また大学と地域拠点とのネットワーキング（個別打ち合わせ）を通して、大会開催年度の実践や大会以降のレガシー構築に向けた意見交換を行った。

日 時：令和3年5月14日（金）14：00～17：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

主 催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

プログラム：

14：00 開会挨拶

スポーツ庁 スポーツ戦略官 大谷 圭介

14：05 オリンピック・パラリンピック教育に関する情報提供

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 幸田 晃彦

14：30 各関係団体より情報提供

- ・ 東京2020組織委員会

アクション&レガシー部担当課長（教育担当） 塩見 絢子

- ・ 東京都教育庁 指導部指導企画課指導主事 中村 伸也

- ・ 日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部ディレクター 山口 雄介

- ・ I'mPOSSIBLE 日本版事務局 マセソン美季

- ・ 内閣官房オリパラ推進本部事務局 参事官補佐 金子 昌弘

15：20 （休憩・ミーティングルーム移動）

15：30 全国中核拠点（担当大学）と各地域拠点の打ち合わせ

- ・ 筑波大学+担当地域拠点（+スポーツ庁）
- ・ 日本体育大学+担当地域拠点（+スポーツ庁）
- ・ 早稲田大学+担当地域拠点（+スポーツ庁）



(2) 地域セミナー

全国セミナー後、各地域拠点では推進校の選定（指定）が行われ、当該校教員および教育事務所担当者を対象とした研修会が実施された。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の実践支援を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大の影響を考慮し、開催方法（集会形式、オンライン形式）にかかわらず、本学からは全ての地域セミナーにオンラインにて参加した。また、地域セミナーを開催せず資料配布や学校訪問を実施した地域については、本事業に関する情報提供資料を作成・配布し、実践支援を行った。

(本事業の概要説明)

本学の担当教員が登壇し、本事業の背景と経緯、オリンピック・パラリンピック教育の意義について講演を行った。また、全国中核拠点会議で設定された「オリンピック・パラリンピック教育の推進テーマ」について説明し、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮した上で新しい生活様式に対応した具体的な実践事例（オンラインを活用した実践など）を紹介した。

(各教材の使用方法に関する説明)

東京2020組織委員会のウェブサイトに掲載されている、国際オリンピック委員会（IOC）公認教材の「オリンピック価値教育プログラム（OVEP）」、国際パラリンピック委員会（IPC）公認教材の「I'mPOSSIBLE」、東京都教育委員会の「オリンピック・パラリンピック学習読本」、その他授業用資料等を紹介した。また、大会本番年度に活用できる関連資料やスポーツ庁が新たに開設したVR映像やアスリートと長官対談動画等のコンテンツが掲載されているウェブサイトについても説明した。

次のページに、各地域拠点における地域セミナーの要項を掲載する（一部改編）。

- ※ 茨城県、京都府、島根県、和歌山県、愛媛県、京都市においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を考慮して、資料配布や学校訪問で対応された。

①宮城県

日 時：令和3年6月8日（火） 9：30～11：30

場 所：宮城県行政庁舎10階 1001会議室

プログラム：

9：30 開会挨拶

宮城県教育庁保健体育安全課 課長 鈴木 秀利

9：40 オリンピック・パラリンピック教育研修

・ 事業概要

筑波大学 特命教授 真田 久

・ 実践事例および教材紹介

筑波大学体育系 助教 大林 太朗

（休憩 10分）

10：30 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の

宮城県の取組概要および事務手続きについて

宮城県教育庁保健体育安全課学校体育班 主幹 北條 志伸

11：10 質疑応答

11：20 閉会行事



②福島県

日 時：令和3年5月21日（金）14：00～16：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

- 開会のことば
福島県教育庁健康教育課 指導主事 左雨 貴子
- 参加者紹介
- 事業説明
筑波大学 特命教授 真田 久
- 事例・教材紹介
筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世
- 質疑応答
- その他
- 閉会のことば

③群馬県

日 時：令和3年6月15日（火）14：00～16：00

場 所：群馬県庁 295会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

群馬県教育委員会健康体育課 課長 橋 憲市

14：05 出席者紹介

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

概要説明および教材等の紹介

筑波大学 特命教授 真田 久

14：40 事業実施上の留意点について

群馬県教育委員会健康体育課 指導主事 綱島 毅

15：10 質疑応答、情報交換

15：40 その他（情報提供等）

15：50 閉会挨拶



④長野県

日 時：令和3年8月27日（金）15：10～17：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

15：10 開会

- ・ あいさつ

長野県教育委員会スポーツ課学校体育係 係長 小林 秀樹

- ・ 本会の趣旨説明、内容確認

長野県教育委員会スポーツ課学校体育係 指導主事 関 浩司

15：20 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要説明

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

15：35 地域の実践事例紹介および教材紹介

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

15：55 長野県教育プロジェクト「パラ学」についての概要説明

長野県障がい者支援課障がい者スポーツ支援係 主事 金井 大地

（休憩 10分）

16：25 本事業に係る事務手続き等について（質疑応答を含む）

16：35 モデル推進校 各校の取り組みについて

17：00 閉会



⑤愛知県

日 時：令和3年6月25日（金）14：00～15：50

場 所：愛知県教育会館 第3・4会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

愛知県教育委員会保健体育課 課長 岩田 政久

14：05 令和3年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学 特命教授 真田 久

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

（休憩 10分）

14：50 2020年度愛知県推進校の実践事例紹介および本年度の事業説明

愛知県教育委員会保健体育課 指導主事 山本 新平

15：15 質疑応答

15：30 連絡事項

15：35 閉会挨拶

15：40 個別相談会



⑥山口県

日 時：令和3年6月4日（金）14：00～16：30

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

14：00 開会行事

山口県教育庁安全・体育課 課長 宮村 和幸

14：05 所管説明

山口県教育庁安全・体育課 指導主事 田中 大輔

14：25 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

14：45 他地域におけるオリ・パラ教育実践事例紹介および教材紹介

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

（休憩 15分）

15：20 協議・情報交換

- ・ 効果的なオリ・パラ教育の推進について
- ・ 情報交換

16：10 質疑応答、諸連絡

16：25 閉会行事



⑦福岡県

日 時：令和3年6月3日（木）15：00～16：45

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

15：00 開会行事

福岡県教育庁振興部体育スポーツ健康課 総括指導主事 藤野 文隆

15：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学 特命教授 真田 久

15：25 オリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

（休憩 10分）

15：50 本事業に係る事務手続き等に関する説明

福岡県教育庁振興部体育スポーツ健康課 指導主事 門司 栄一

16：05 質疑応答

16：15 諸連絡

16：25 閉会行事

⑧北九州市

日 時：令和3年6月7日（月）15：00～17：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

15：00 開会行事

北九州市教育委員会次世代教育推進部授業づくり支援企画課

課長 南里 幸一

15：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学 特命教授 真田 久

15：20 オリンピック・パラリンピック教育実践事例・教材紹介

筑波大学体育系 非常勤研究員 福田 佳太（代理：真田 久）

（準備・休憩 10分）

15：45 パラアスリートを中心とした講師と楽しく共生社会について学ぶ

学校向け教育プログラム

オンライン版「あすチャレ！ジュニアアカデミー」を活用した実践研修

北九州市教育委員会次世代教育推進部授業づくり支援企画課

指導主事 篠田 勝美

16：25 質疑応答、諸連絡

17：00 閉会行事

3. 各地域拠点の推進校における実践

(1) 推進校一覧

本年度は14地域において、計306校の推進校で5つのテーマ（→P.2参照）に沿ったオリンピック・パラリンピック教育の実践が展開された。各校の実践の詳細は、筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）の事業報告ウェブサイト参照されたい（<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/consignment>）。

宮城県（計13校）

小学校（4）	石巻市立貞山小学校、大崎市立鳴子小学校、白石市立白石第一小学校、 仙台市立四郎丸小学校
中学校（4）	大崎市立古川東中学校、白石市立白石中学校、仙台市立秋保中学校、 東松島市立矢本第二中学校
高等学校（5）	宮城県泉高等学校、宮城県鹿島台商業高等学校、宮城県南郷高等学校、 宮城県松山高等学校、宮城県利府高等学校

福島県（計45校）

小学校（25）	会津若松市立荒館小学校、会津若松市立行仁小学校、 猪苗代町立緑小学校、いわき市立植田小学校、いわき市立小川小学校、 いわき市立上遠野小学校、いわき市立平第二小学校、 いわき市立平第五小学校、郡山市立安積第三小学校、郡山市立金透小学校、 郡山市立小泉小学校、郡山市立桜小学校、郡山市立柴宮小学校、 郡山市立白岩小学校、郡山市立富田東小学校、郡山市立永盛小学校、 郡山市立芳山小学校、郡山市立緑ヶ丘第一小学校、郡山市立宮城小学校、 田村市立緑小学校、福島市立荒井小学校、福島市立佐原小学校、 福島市立平野小学校、福島市立水保小学校、福島市立吉井田小学校
---------	--

中学校（10）	会津若松市立第四中学校、会津若松市立第六中学校、 いわき市立小名浜第二中学校、いわき市立平第一中学校、 いわき市立平第三中学校、いわき市立勿来第一中学校、 いわき市立勿来第二中学校、郡山市立片平中学校、田村市立船引南中学校、 福島市立吾妻中学校
高等学校（2）	福島県立あさか開成高等学校、福島県立田村高等学校
特別支援学校（8）	福島県立会津支援学校、福島県立いわき支援学校くぼた校、 福島県立郡山支援学校、福島県立視覚支援学校、 福島県立平支援学校、福島県立たむら支援学校（高等部）、 福島県立聴覚支援学校、福島市立ふくしま支援学校

茨城県（計29校）

小学校（23）	石岡市立恋瀬小学校、石岡市立東成井小学校、稲敷市立沼里小学校、 牛久市立向台小学校、小美玉市立納場小学校、笠間市立宍戸小学校、 鹿嶋市立豊郷小学校、鹿嶋市立中野西小学校、鹿嶋市立波野小学校、 北茨城市立華川小学校、古河市立名崎小学校、桜川市立坂戸小学校、 筑西市立上野小学校、つくば市立今鹿島小学校、つくば市前野小学校、 つくばみらい市立十和小学校、つくばみらい市立谷原小学校、 土浦市立乙戸小学校、土浦市立都和小学校、取手市立取手西小学校、 那珂市立横堀小学校、鉾田市立旭北小学校、守谷市立郷州小学校
中学校（4）	潮来市立牛堀中学校、土浦市立土浦第四中学校、土浦市立土浦第六中学校、 日立市立十王中学校
義務教育学校（1）	つくば市立秀峰筑波義務教育学校
特別支援学校（1）	茨城県立水戸聾学校

群馬県（計6校）

中学校（2）	富岡市立妙義中学校、沼田市立沼田南中学校
--------	----------------------

高等学校（２）	群馬県立安中総合学園高等学校、群馬県立長野原高等学校
特別支援学校（２）	群馬県立あさひ特別支援学校、群馬県立二葉特別支援学校

長野県（計１０校）

小学校（２）	千曲市立屋代小学校、長野市立篠ノ井西小学校
中学校（２）	池田町立高瀬中学校、長野市立更北中学校
義務教育学校（２）	信濃町立信濃小中学校、松本市立奈川小中学校
高等学校（１）	長野県長野西高等学校
中等教育学校（１）	長野県屋代高等学校附属中学校
特別支援学校（２）	長野県伊那養護学校、長野県長野養護学校

愛知県（計１８校）

小学校（７）	愛西市立永和小学校、稲沢市立長岡小学校、春日井市立岩成台西小学校、 新城市立東郷東小学校、武豊町立富貴小学校、みよし市立黒笹小学校、 半田市立乙川小学校
中学校（５）	一宮市立大和中学校、春日井市立知多中学校、豊橋市立南陽中学校、 弥富市立弥富中学校、西尾市立西尾中学校
高等学校（５）	愛知県立岡崎東高等学校、愛知県立蒲郡高等学校、 愛知県立加茂丘高等学校、愛知県立衣台高等学校、 愛知県立瀬戸北総合高等学校
特別支援学校（１）	愛知県立一宮特別支援学校

京都府（計５５校）

小学校（１０）	井手町立井手小学校、井手町立多賀小学校、木津川市立上狛小学校、 木津川市立木津川台小学校、木津川市立相楽小学校、 京田辺市立薪小学校、城陽市立青谷小学校、城陽市立久津川小学校、 城陽市立寺田小学校、城陽市立古川小学校
---------	---

中学校（9）	綾部市立綾部中学校、井手町立泉ヶ丘中学校、木津川市立山城中学校、 京丹波町立蒲生野中学校、京丹波町立和知中学校、南丹市立園部中学校、 舞鶴市立白糸中学校、宮津市立栗田中学校、宮津市立宮津中学校
高等学校（25）	京都府立網野高等学校、京都府立綾部高等学校、京都府立鴨沂高等学校、 京都府立乙訓高等学校、京都府立亀岡高等学校、京都府立加悦谷高等学校、 京都府立北桑田高等学校、京都府立北嵯峨高等学校、 京都府立京都八幡高等学校、京都府立京都八幡高等学校（南キャンパス）、 京都府立久美浜高等学校、京都府立久御山高等学校、 京都府立須知高等学校、京都府立城陽高等学校、京都府立田辺高等学校、 京都府立東稜高等学校、京都府立菟道高等学校、京都府立鳥羽高等学校、 京都府立南丹高等学校、京都府立西乙訓高等学校、 京都府立西城陽高等学校、京都府立西舞鶴高等学校、 京都府立桃山高等学校、京都府立洛水高等学校、京都府立洛北高等学校
特別支援学校（11）	京都府立宇治支援学校、京都府立城陽支援学校、京都府立丹波支援学校、 京都府立中丹支援学校、京都府立舞鶴支援学校、京都府立南山城支援学校、 京都府立向日が丘支援学校、京都府立盲学校、京都府立八幡支援学校、 京都府立与謝の海支援学校、京都府立聾学校

和歌山県（計3校）

小学校（2）	海南市立下津小学校、海南市立大東小学校
特別支援学校（1）	和歌山県立和歌山盲学校

島根県（計7校）

小学校（2）	大田市立高山小学校、吉賀町立柿木小学校
中学校（3）	大田市立第三中学校、浜田市立旭中学校、浜田市立三隅中学校
高等学校（1）	島根県立益田高等学校
特別支援学校（1）	島根県立出雲養護学校

山口県（計 11 校）

小学校（6）	岩国市立修成小学校、山陽小野田市立埴生小学校、下関市立生野小学校、 下関市立豊北小学校、周南市立岐山小学校、山口市立大殿小学校
中学校（2）	宇部市立西岐波中学校、山口市立平川中学校、
義務教育学校（1）	萩市立大島小中学校
高等学校（1）	山口県立西京高等学校
特別支援学校（1）	山口県立田布施総合支援学校

愛媛県（計 20 校）

幼稚園（3）	大洲市立久米幼稚園、四国中央市立土居東幼稚園、東温市立北吉井幼稚園
小学校（7）	伊方町立三机小学校、伊予市立北山崎小学校、今治市立富田小学校、 鬼北町立好藤小学校、西条市立三芳小学校、東温市立川上小学校、 東温市立西谷小学校
中学校（5）	内子町立内子中学校、宇和島市立津島中学校、西条市立西条北中学校、 新居浜市立角野中学校、松山市立東中学校
高等学校（4）	愛媛県立今治北高等学校、愛媛県立宇和島東高等学校、 愛媛県立新居浜工業高等学校、愛媛県立八幡浜高等学校
特別支援学校（1）	愛媛県立松山聾学校

福岡県（計 20 校）

小学校（6）	飯塚市立鯉田小学校、うきは市立江南小学校、大野城市立御笠の森小学校、 大牟田市立天領小学校、鞍手町立新延小学校、行橋市立稗田小学校
中学校（6）	朝倉市立比良松中学校、飯塚市立穂波東中学校、 太宰府市立太宰府東中学校、豊前市立千束中学校、宮若市立宮若東中学校、 八女市立南中学校

高等学校（6）	福岡県立北九州高等学校、福岡県立早良高等学校、 福岡県立太宰府高等学校、福岡県立直方高等学校、福岡県立三潴高等学校、 福岡県立三井高等学校
中等教育学校（1）	福岡県立輝翔館中等教育学校
特別支援学校（1）	福岡県立特別支援学校「北九州高等学園」

京都市（計21校）

小学校（6）	京都市立嵐山東小学校、京都市立石田小学校、京都市立九条塔南小学校、 京都市立御所東小学校、京都市立朱雀第六小学校、京都市立松尾小学校
中学校（9）	京都市立太秦中学校、京都市立春日丘中学校、京都市立桂中学校、 京都市立上京中学校、京都市立嘉楽中学校、京都市立下京中学校、 京都市立西京極中学校、京都市立松原中学校、京都市立洛西中学校
義務教育学校（2）	京都市立東山泉小中学校、京都市立向島秀蓮小中学校
高等学校（4）	京都市立京都工学院高等学校、京都市立西京高等学校（定時制）、 京都市立日吉ヶ丘高等学校、京都市立紫野高等学校

北九州市（計48校）

幼稚園（1）	北九州市立鷹の巣幼稚園
小学校（30）	北九州市立足立小学校、北九州市立大蔵小学校、北九州市立大積小学校、 北九州市立大原小学校、北九州市立長行小学校、北九州市立木屋瀬小学校、 北九州市立楠橋小学校、北九州市立広徳小学校、北九州市立桜丘小学校、 北九州市立白野江小学校、北九州市立大里東小学校、 北九州市立大里柳小学校、北九州市立高見小学校、北九州市立田原小学校、 北九州市立槻田小学校、北九州市立塔野小学校、北九州市立德力小学校、 北九州市立戸畑中央小学校、北九州市立中井小学校、 北九州市立長尾小学校、北九州市立西小倉小学校、北九州市立花尾小学校、

	北九州市立藤木小学校、北九州市立藤松小学校、北九州市立二島小学校、 北九州市立星ヶ丘小学校、北九州市立松ヶ江北小学校、 北九州市立松ヶ江南小学校、北九州市立南小倉小学校、 北九州市立若園小学校
中学校（17）	北九州市立足立中学校、北九州市立石峯中学校、北九州市立大蔵中学校、 北九州市立尾倉中学校、北九州市立香月中学校、北九州市立菊陵中学校、 北九州市立熊西中学校、北九州市立向洋中学校、北九州市立城南中学校、 北九州市立曾根中学校、北九州市立田原中学校、北九州市立洞北中学校、 北九州市立戸ノ上中学校、北九州市立則松中学校、北九州市立花尾中学校、 北九州市立二島中学校、北九州市立南曾根中学校

（2）推進校アンケート

オリンピック・パラリンピック教育の実践の成果について評価すべく、推進校の取組に参加した児童・生徒を対象にオリンピック・パラリンピック教育についてアンケートを実施した。アンケート調査概要については、以下の通りである。

【調査方法】

大会本番年度にあたり、以下の方法で3回に分けてアンケート調査を実施し、比較調査を行った。

- ① 各学校に調査用紙が届いた直後
- ② 大会前に教育活動を行った場合はその直後、遅くとも大会終了時
- ③ 大会後に教育活動を行った場合はその直後、遅くとも1月末まで

【調査対象】

地域拠点の推進校において、オリンピック・パラリンピック教育実践に参加した小学4年生以上から高等学校3年生までの児童・生徒。

【調査項目】

オリンピック・パラリンピックについて

- ア オリンピックに興味がありますか。
- イ パラリンピックに興味がありますか。
- ウ 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
- エ 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
- オ これから行われる、オリンピック・パラリンピックイベントに参加したいと思いますか。

活動テーマについて

- ア 社会や人のために役立つことをしたいと思いますか。
- イ お年寄りや障害のある方と交流したいと思いますか。
- ウ 運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。
- エ 日本の伝統・文化について興味がありますか。
- オ 外国の人々の暮らしや習慣などを調べてみたいと思いますか。

オリンピック・パラリンピックについてのアンケート
 (第1回) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム
 1. 調査票をマークしてください。
 2. 学校番号をマークしてください。
 3. 1～3のあてはまる○にマークをしてください。
 1. 性別 ○ 男子 ○ 女子
 2. 学校
 3. 学年
 4. オリンピック・パラリンピックについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア オリンピックに興味がありますか。
 イ パラリンピックに興味がありますか。
 ウ 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 エ 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 オ これから行われる、オリンピック・パラリンピックイベントに参加したいと思いますか。
 5. 活動テーマについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア 社会や人のために役に立つことをしたいと思いますか。
 イ お年寄りや障害のある方と交流したいと思いますか。
 ウ 運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。
 エ 日本の伝統・文化について興味がありますか。
 オ 外国の人々の暮らしや習慣などを調べてみたいと思いますか。

オリンピック・パラリンピックについてのアンケート
 (第2回) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム
 1. 調査票をマークしてください。
 2. 学校番号をマークしてください。
 3. 1～3のあてはまる○にマークをしてください。
 1. 性別 ○ 男子 ○ 女子
 2. 学校
 3. 学年
 4. オリンピック・パラリンピックについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア オリンピックに興味がありますか。
 イ パラリンピックに興味がありますか。
 ウ 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 エ 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 オ これから行われる、オリンピック・パラリンピックイベントに参加したいと思いますか。
 5. 活動テーマについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア 社会や人のために役に立つことをしたいと思いますか。
 イ お年寄りや障害のある方と交流したいと思いますか。
 ウ 運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。
 エ 日本の伝統・文化について興味がありますか。
 オ 外国の人々の暮らしや習慣などを調べてみたいと思いますか。

オリンピック・パラリンピックについてのアンケート
 (第3回) 筑波大学オリンピック教育プラットフォーム
 1. 調査票をマークしてください。
 2. 学校番号をマークしてください。
 3. 1～3のあてはまる○にマークをしてください。
 1. 性別 ○ 男子 ○ 女子
 2. 学校
 3. 学年
 4. オリンピック・パラリンピックについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア オリンピックに興味がありますか。
 イ パラリンピックに興味がありますか。
 ウ 将来、オリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 エ 将来、パラリンピックにボランティアや応援などで参加したいですか。
 オ これから行われる、オリンピック・パラリンピックイベントに参加したいと思いますか。
 5. 活動テーマについて、あてはまる番号にマークをしてください。
 ア 社会や人のために役に立つことをしたいと思いますか。
 イ お年寄りや障害のある方と交流したいと思いますか。
 ウ 運動やスポーツをすること、みることに興味がありますか。
 エ 日本の伝統・文化について興味がありますか。
 オ 外国の人々の暮らしや習慣などを調べてみたいと思いますか。

4. オリンピアン・パラリンピアン派遣プロジェクト

オリンピック・パラリンピアン体験談を聞くことや直接指導を受けることなどの「本物に触れる機会」は、子どもたちにとって貴重な経験となる。本プロジェクトは、そのような機会を少しでも多くの子どもたちに体験してもらうために、本学に深く関わりのあるオリンピック・パラリンピアンを紹介するものである。本年度、ご協力いただいた4名について以下に報告する。

千田 健太 氏 (オリンピック/フェンシング)

2008年北京大会出場、2012年ロンドン大会銀メダル獲得

(派遣先)

- ・ 宮城県：仙台市立四郎丸小学校
- ・ 宮城県：仙台市立秋保中学校
- ・ 宮城県：東松島市立矢本第二中学校
- ・ 茨城県：つくば市立今鹿島小学校
- ・ 茨城県：つくばみらい市立谷原小学校
- ・ 茨城県：守谷市立郷州小学校
- ・ 茨城県：土浦市立土浦第六中学校
- ・ 茨城県：日立市立十王中学校



平岡 拓晃 氏 (オリンピック/柔道)

2008年北京大会出場、

2012年ロンドン大会銀メダル獲得

(派遣先)

- ・ 茨城県：土浦市立乙戸小学校
- ・ 茨城県：つくば市立前野小学校
- ・ 愛知県：豊橋市立南陽中学校



三澤 拓 氏 (パラリンピアン/パラアルペンスキー)

2006年トリノ大会より5大会連続出場

(派遣先)

- ・ 長野県：池田町立高瀬中学校



小池 岳太 氏 (パラリンピアン/パラアルペンスキー)

2006年トリノ大会より5大会連続出場

(派遣先)

- ・ 茨城県：小美玉市立納場小学校
- ・ 長野県：長野市立更北中学校
- ・ 愛知県：愛知県立岡崎東高等学校



5. ワークショップ（事後研修会）

（1）地域ワークショップ

各推進校でのオリンピック・パラリンピック教育の実践後、本年度の成果及び課題、東京2020大会終了後となる来年度以降に向けた構想を共有するための報告会が開催された。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の支援を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を考慮し、本学からは一部の地域ワークショップにおいてオンラインで参加した。

（本事業の報告および特徴的な実践事例紹介、今後のオリ・パラ教育の展開の提案）

本学の担当教員より、これまでの本事業についての報告や本番年度における他の地域拠点の特徴的な実践事例を紹介した。また、今後のオリンピック・パラリンピック教育の展開に向けた視点を提示しつつ、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの創造・構築に関する情報提供を行った。

（講評）

多くの地域ワークショップでは、推進校による実践報告や、学校種・段階別等の小グループに分かれ、各推進校等における実践の成果と課題を共有するとともに、大会終了後の具体的な実践アイデアに関する意見交換を行うグループワークが行われた。その内容を含むワークショップ全体について、本学の担当教員より講評を行った。

次に、各地域拠点における地域ワークショップの要項を掲載する（一部改編）。

- ※ 京都府、和歌山県、京都市においては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大を考慮して、資料配布や動画配信等で対応された。

①宮城県

日 時：令和4年2月10日（木）9：00～11：50

場 所：宮城県行政庁舎10階 1001会議室

※本学からはオンラインにて参加

プログラム：

9：00 受付

9：10 開催挨拶

宮城県教育庁保健体育安全課 課長 鈴木 秀利

9：20 講演「学校教育における障がい者スポーツの取組の現状と今後の展開について」

講師：東北文化学園大学 准教授 佐藤 敬広

（休憩 15分）

10：50 推進校からの発表

※実践内容、成果と課題、レガシーとして考えられる取組等について

11：40 講評

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

諸連絡

②福島県

日 時：令和4年1月20日（木）13：00～16：00

場 所：コミュタン福島（福島県環境創造センター交流棟） ホール

プログラム：

13：00 受付

13：20 主催者あいさつ

福島県教育庁健康教育課 課長 佐藤 文男

13：30 実践報告

- ・ 福島市立新井小学校
- ・ 郡山市立白岩小学校
- ・ 福島県立あさか開成高等学校

14：30 実践事例の紹介および講評

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

（休憩 10分）

15：00 講演「本県のオリ・パラ教育について～これまでの取組とレガシーの継承～」

オリンピック・パラリンピック推進室 指導主事 清水 裕之

15：55 諸連絡



③茨城県

日 時：令和4年1月21日（金）14：00～17：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

【全体会】

14：00 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課 課長 秋山 克巳

14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

14：30 グループディスカッションの進め方についての説明

【分科会：7グループ】

14：35 各推進校からの実践内容の報告・質疑応答

（休憩 10分程度）

15：15 グループディスカッション

- ・ 実践を通しての成果と課題
- ・ 各推進校における今後のオリンピック・パラリンピック教育について
（今後どのような取組を継続していただけるか）

15：50 分科会からの発表

16：30 講評・指導

筑波大学 特命教授 真田 久

16：55 閉会



④群馬県

日 時：令和4年1月19日（水）14：00～16：00

開催方法：オンライン会議（Webex）

プログラム：

14：00 開会挨拶

群馬県教育委員会健康体育課 課長 橋 憲市

14：05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の報告及び実践事例紹介

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

14：25 教育推進校の実践報告

- ・ 沼田市立沼田南中学校
- ・ 富岡市立妙義中学校
- ・ 群馬県立安中総合学園高等学校
- ・ 群馬県立長野原高等学校
- ・ 群馬県立二葉特別支援学校
- ・ 群馬県立あさひ特別支援学校

15：15 協議、情報交換

- ・ オリ・パラ教育を進める上での課題について
- ・ 今後のオリ・パラ教育について

15：40 その他（情報提供等）

15：45 講評

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

15：55 閉会挨拶



⑤長野県

日 時：令和4年2月17日（木）14：30～17：00

場 所：長野県スポーツ会館 会議室

※本学からはオンラインにて参加

プログラム：

14：30 開会

- ・ 教育委員会あいさつ

長野県教育委員会学校体育係 教育主幹兼係長 小林 秀樹

14：40 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告について

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

14：55 本県推進教育実践事例の紹介

長野市立篠ノ井西小学校、千曲市立屋代小学校、松本市立奈川小中学校、
信濃町立信濃小中学校、長野市立更北中学校、池田町立高瀬中学校、
長野県屋代高等学校附属中学校、長野県長野西中学校、
長野県長野養護学校、長野県伊那養護学校

(休憩 10分)

16：05 協議、情報交換

- ・ オリ・パラ教育の価値とさらなる充実に向けて
- ・ 来年度以降のオリ・パラ教育の展望

16：35 講評

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

16：40 閉会

⑥愛知県

日 時：令和3年12月13日（月）14：00～16：30

場 所：愛知県教育会館7階 第3・4会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

愛知県教育委員会保健体育課 課長 岩田 政久

14：05 令和3年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

14：25 推進校実践報告

- ・ 愛西市立永和小学校
- ・ 武豊町立富貴小学校
- ・ 一宮市立大和中学校
- （休憩）
- ・ 西尾市立西尾中学校
- ・ 愛知県立瀬戸北総合高等学校
- ・ 愛知県立衣台高等学校

15：30 グループワーク／情報共有

※ 小学校・中学校・県立学校のグループにて、①今年度の成果と②次年度の継続に向けたアイディアに関するディスカッション

16：15 講評

筑波大学 特命教授 真田 久

16：20 閉会挨拶

愛知県教育委員会保健体育課 課長 岩田 政久



⑦島根県

日 時：令和4年1月26日（水）13：00～16：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

13：00 開会行事

島根県教育庁保健体育課 課長 舟木勝宏

13：10 実践発表

- ・ 大田市立高山小学校
- ・ 吉賀町立柿木小学校
- ・ 島根県立出雲養護学校
- ・ 島根県立益田高等学校
- ・ 大田市立第三中学校
- ・ 浜田市立旭中学校
- ・ 浜田市立三隅中学校

14：50 講演「東京2020の教育的レガシーと今後の展開」

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

15：50 情報提供、閉会行事



⑧山口県

日 時：令和4年2月16日（水）13：30～16：00

開催方法：オンライン会議（Zoom）

プログラム：

13：15 受付

13：30 開会行事

山口県教育庁学校安全・体育課 教育調整監 末永 和文

13：40 講義「実践事例紹介および今後のオリ・パラ教育の展開について」

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

14：00 実践報告

岩国市立修成小学校、周南市立岐山小学校、山口市立大殿小学校、
山陽小野田市立埴生小学校、下関市立豊北小学校、下関市立生野小学校、
萩市立大島小中学校、山口市立平川中学校、宇部市立西岐波中学校、
山口県立西京高等学校、山口県立田布施総合支援学校

（休憩 10分）

15：00 講評

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

15：50 諸連絡・閉会行事



⑨愛媛県

日 時：令和4年1月31日（月）15：00～16：30

開催方法：オンライン形式（Zoom）

プログラム：

15：00 主催者あいさつ

愛媛県観光スポーツ文化スポーツ局地域スポーツ課オリパラ推進室
室長 武智 公博

15：03 オリ・パラ教育事例発表

- ・ 鬼北町立好藤小学校 教諭 増田 典嗣
- ・ 愛媛県立今治北高等学校 教諭 川尻 雄洋

15：30 講演①

オリンピック（陸上競技） 土佐 礼子

15：50 講演②

愛媛大学教育学部 副学長 日野 克博

16：20 講評

筑波大学 特命教授 真田 久



⑩福岡県

日 時：令和4年1月19日（水）14：30～16：30

開催方法：オンライン形式（Zoom）

プログラム：

14：30 開会行事

14：40 福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育事例紹介

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 指導主事 門司 栄一

15：00 全国におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

筑波大学 特命教授 真田 久

（休憩 15分）

15：45 各学校における実践内容のグループ交流

16：20 グループ交流内容の報告

16：30 閉会行事



④北九州市

日 時：令和4年1月18日（火）15：00～17：00

開催方法：オンライン形式（Teams）

プログラム：

15：00 開会行事

北九州市教育委員会次世代教育推進部授業づくり支援企画課

課長 南里 幸一

15：05 令和3年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系 助教 大林 太郎

15：30 グループ内での報告

- ・ 実践内容
- ・ 実践の成果
- ・ 実践の課題
- ・ 次年度の構想
- ・ その他

15：50 全体でグループでの報告内容の共有

16：05 講演「東京2020大会後の学校における

オリンピック・パラリンピック教育について」

男子体操競技強化本部長・JOC 理事 水鳥 寿思

16：55 質疑・応答および諸連絡、閉会行事



(2) 全国ワークショップ

各地域拠点のコーディネーター等を対象とする「全国ワークショップ」を開催した。本ワークショップでは、大会本番年の実践を振り返るとともに、2016年度から計6年間の事業総括をもってこれからの継続性について議論を行った。

日 時：令和4年1月24日（月）13：30～16：30

開催方法：オンライン会議（Zoom）

主 催：筑波大学、日本体育大学、早稲田大学

プログラム：

13：30 開会挨拶

スポーツ庁 審議官 星野 芳隆

13：35 事業総括

筑波大学体育系 准教授 宮崎 明世

日本体育大学 特別研究員 乳井 勇二

早稲田大学 招聘研究員 岡田 悠佑

14：05 スポーツ庁・関係団体報告

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課 課長補佐 遠藤 翼

東京2020組織委員会アクション&レガシー部

担当課長（教育担当） 塩見 絢子

東京都教育庁指導部指導企画課 指導主事 中村 伸也

内閣官房オリパラ事務局 参事官補佐 金子 昌弘

日本オリンピック委員会オリンピック・ムーブメント推進部

部長 黒川 仁美

日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会ムーブメント推進課

課長 安岡 由恵

日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部

プロジェクトリーダー 山本 恵理

（休憩 10分）

15 : 10 担当大学別意見交換会

- ・ 筑波大学 + 担当地域拠点
- ・ 日本体育大学 + 担当地域拠点
- ・ 早稲田大学 + 担当地域拠点

16 : 10 全体共有・意見交換

16 : 25 閉会行事

筑波大学 特命教授 真田 久

意見交換会では、主に①東京 2020 大会本番の機会やその振り返りなどを活用された実践と②次年度以降の継続に向けた取り組みについて、各地地域拠点から話題提供をいただき全体共有を行った。



令和3年度スポーツ庁委託事業
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 事業報告書

令和4年3月

発行：筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）

茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学グローバルスポーツイノベーション棟204

Tel・Fax：029-853-8749

E-mail：coreadmin@core.taiiku.tsukuba.ac.jp
